



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ブレディア横浜三ツ沢	階数	地上7F
建設地	保土ヶ谷区岡沢町81番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	127人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 竣工	評価の実施日	2017年10月16日
敷地面積	1,193㎡	作成者	永井 貢
建築面積	726㎡	確認日	2017年10月16日
延床面積	4,061㎡	確認者	永井 貢

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 78% (107 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 78% (107 kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 78% (107 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	3.2
温熱環境	2.7
光・視環境	2.6
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	3.0
耐用性・信頼性	2.6
対応性・更新性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物外皮の熱負荷	4.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	3.6
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

水資源保護	2.2
非再生材料の使用削減	2.4
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化への配慮	3.8
地域環境への配慮	3.0
周辺環境への配慮	2.7

3 設計上の配慮事項		その他
総合 一般的な共同住宅。		
Q1 室内環境 シックハウス対策として、クロルピホスを添加した建材を使用しない。 JIS、JAS規格による「F☆☆☆☆」表示のある建材を使用する。	Q2 サービス性能 住居の天井高を2.4m以上を設定。	Q3 室外環境(敷地内) 良好な緑化計画としている。
LR1 エネルギー エコジョーズ採用。	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



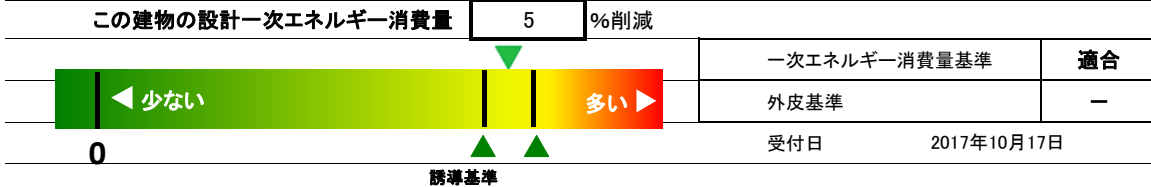
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **プレディア横浜三ツ沢**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③断熱材及び開口部の断熱性能をバランスよく計画し、高断熱浴槽を採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥日本住宅性能表示基準「6-1ホルムアルデヒド対策(内装及び天井裏等)」における等級3を満たしている。

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯建物の劣化を防ぎ耐用年数向上させる目的で、住宅性能評価の劣化対策等級3を取得

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	